

加古川市立中央図書館だより

(発行) 加古川市立中央図書館

〒675-0101

加古川市平岡町新在家1224-7

(TEL) 079-425-5200

(FAX) 079-425-6696



# ぶっくガーデン

NO.262 - 2024年9月 (URL) <https://www.lics-saas.nexs-service.jp/kakogawa/>

## 中秋の時期に読んでみましょう！ 一月に関する本を集めました -

陰暦8月15日は中秋の名月。今年は9月17日に当たります。月は地球にとって一番近い天体でもあり、昔の人たちも様々な想いを持って月を見つめ、生活や文化を支える拠り所としたり、伝承や言い伝えを生んできました。時代が変わり、現代の私たちにとってもやはり月は身近な存在です。

- ・「世界の太陽と月と星の民話」 日本民話の会/外国民話研究会 編訳 三弥井書店 388-7  
日本民話の会の活動組織である外国民話研究会が世界各地の天体に関する民話を収集して、記録した本です。世界中の人たちが空を見上げて生活する中で生まれた話がここに集約されています。物語、伝説、信仰…。本当にたくさんのお話があるものです。
- ・「月 日本の名随筆58」 安東 次男 編 作品社 914.6-2  
文化人、著名人の月に関するエッセイ 36 編を収めています。それぞれの目線で月についての思い、出来事、情感などが書かれています。
- ・「月 書物の王国4」 国書刊行会 908-シ  
月を題材やテーマにした内外の文学作品 31 編のアンソロジーです。グリム兄弟、佐藤春夫、川端康成、宮沢賢治、ベッケル…。収録されている著者も多種多様ですので、初めて見る文学者や文化人に出会えるかもしれません。
- ・「月のものがたり」 鈴木 光司 編 ソフトバンククリエイティブ 918.6-ツ  
編者が「我々の先祖は、月にどんな想いを託していたのだろうか」という郷愁や月への畏怖を感じつつ、月をテーマにした詩、和歌、俳句、小説を集めた本です。萩原朔太郎、中原中也、宮沢賢治、梶井基次郎、竹取物語、北原白秋…。センチメンタルとノスタルジーの世界へ誘う作品が集まっています。
- ・「月の文学館」 和田 博文 編 筑摩書房 918.6-ツ  
昭和、平成の作家たちが月をテーマに書いた小説・エッセイの珠玉の43編が1冊に集まっています。夜空に浮かぶ美しい月は、いつの時代も私たちを魅了してやまないようです。
- ・「月の名前」 高橋順子・文 佐藤秀明・写真 デコ 446-タ  
美しい月の写真と、美しい日本の詩歌を織りまぜて、月の名前や月の言葉を約400語集めています。月の名前や呼び方がこんなにもたくさんあるとは驚きです。
- ・「月光」 林 完次 角川書店 446-ハ  
月の名前や呼称に対して写真を付し、さらに和歌、俳句などを引用しながら、簡潔に説明やコメントをしています。同類の本に「月に恋」(PHP 研究所 446.0-ツ)があります。この本も美しい月の写真に対して、古典を引用したりして簡単に説明を付けています。
- ・「月の下で」 森 光伸・写真 光村推古書院 748-モ  
竹取物語、源氏物語、万葉集、近世の俳諧や雨月物語、そして宮沢賢治や与謝野晶子など近代までの文学作品について、美しい写真を添えて、簡潔に鑑賞しています。コンパクトながら、美しい写真が読者の心を引き付ける本です。
- ・「月一人との豊かなかかわりの歴史」 バアト・ブルナー 白水社 446.0-ブ  
もっとも身近でありながら、まだ多くの謎を秘めた月。もし月がなかったら…一体地球はどのようになっていたでしょう？例えば潮の満ち引きは月の引力による現象ですから起こらないかもしれません。世界各地の伝説や神話から人と月との関わりを考えたり、詩、小説、絵画、映画などのなかで私たちの月に関する観念をひも解いたり、さまざまな角度からや視点から月と人との関係を考えている本です。

### ■■ 図書館カレンダー ■■

★開館時間 月～土曜日：午前10時～午後8時 日・祝休日：午前10時～午後6時

★休館日 第2・第4月曜日(祝日のときは翌日が休館)、資料整理期間、年末年始(12/29～1/3)

【9月の休館日】 9日(月)、24日(火) 【10月の休館日】 15日(火)、28日(月)

## \* \* 図書館からのお知らせ \* \*

### ●行事のご案内(児童関係)

#### (1)親子で楽しむ絵本とわらべうた

【日時】10月10日(木)、11月14日(木)、12月12日(木)

① 10時30分～10時50分 ② 11時～11時30分 ※3回コース

【内容】親子でわらべうたと絵本を楽しみます

【対象】①0歳の子どもと保護者 ②1、2歳の子どもと保護者

【定員】各回10組(先着順) 【参加料】無料

【場所】おはなしのへや

【申込】9月11日(水) 10時から窓口、電話(079-425-5200)にて受付



#### (2)紙ひこうきであそぼう

【日時】10月20日(日)

① 10時10分～10時50分 ② 11時10分～11時50分

【内容】絵本の読み聞かせと紙ひこうき作りをします

【対象】4歳以上の子どもと保護者

【定員】各回6組(先着順) ※1組3名まで 【参加料】無料

【場所】おはなしのへや

【申込】9月16日(月・祝) 10時から窓口、電話(079-425-5200)にて受付

### ●お知らせ

#### (1)スマートフォン、タブレット等による貸出について

8月より従来の図書館カードに加えて、スマートフォンやタブレットによる貸出を開始しました。

【手順】① 事前に館内の「利用者用検索端末機(OPAC)」や「図書館ホームページ」でパスワードを作成してください。

② 図書館ホームページ(PCサイト、又はスマートフォンサイト)で図書館カード番号とパスワードで「利用照会」へログインしてください。

③ 画面に「図書館カード」のバーコードが表示されますので、従来の「図書館カード」の代わりに図書館窓口で提示して貸出が可能です。

※スクリーンショット等の写真や画面コピーでの利用はできません。

#### (2)貸出期間の延長(継続貸出)の取り扱い変更について

貸出期間(2週間)の延長については、次に予約がない場合に1回に限り可能ですが、9月より一部の取扱内容が変更になります。

【延長処理開始日】(変更前)貸出日以降より可 → (変更後)貸出日から8日目より可

【処理後の返却予定日】(変更前)処理日より2週間後 → (変更後)最初の返却予定日より2週間後

※返却予定日超過後、一定期間内であれば貸出期間の延長が可能です。処理後の返却予定日は処理前の返却予定日より2週間後が新たな返却予定日になります。

## 行事のお知らせ(児童)

#### ●親子えほんの会(毎月第1金曜日)

【日時】9月6日(金)

① 10:30～10:45

② 11:00～11:20

【対象】① 0歳の子どもと保護者

② 1歳から3歳までの子どもと保護者

【定員】各15組(先着順)

#### ●えほんのじかん(毎月第2・4土曜日)

【日時】9月14日、28日(土)

14:00～14:30

【対象】3歳以上の子ども

【定員】30人(先着順)

#### ●おはなし会(毎月第1・3・5土曜日)

【日時】9月7日、21日(土)

14:00～14:30

【対象】4歳以上の子ども

【定員】30人(先着順)



◎場所は、すべて「おはなしのへや」です。